

講義名	レクリエーション論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	水流 寛二		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	44032

主題と概要

レクリエーション活動は、ゲームや歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」など対象や目的に合わせて行われる活動です。

本科目では、レクリエーションの主旨と手段、レクリエーション支援の目的と方法、レクリエーション・インストラクターの役割、レクリエーション活動がもたらす楽しさや心の元気づくり、良好な集団形成の仕組みについて学びます。

また、グループワークを通して、レクリエーション支援プログラムの立案方法や実施するうえでのリスクマネジメントの視点について理解を深めます。

到達目標

- レクリエーションの目的と手段、レクリエーション支援の目的と方法、レクリエーション・インストラクターの役割が分かる。
- レクリエーション活動がもたらす楽しさや信頼関係が築かれる心理的な仕組み、良好な集団が形成される仕組み、自主的、主体的に行動できるようになる仕組みが説明できるようになる。
- レクリエーション支援プログラムの立案とその方法について理解する。

提出課題

数回のレポート課題あり

評価の基準

授業中の評価：授業中の態度・出席など・・・10%
 中期の評価：レポート課題・・・20%
 期末の評価：定期試験、演習・・・70%

履修にあたっての注意・助言他

授業中のマナーを守ること。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて配布する。

授業計画

- オリエンテーション
- レクリエーション支援およびレクリエーション・インストラクターの役割
- 楽しさを通じた心の元気づくりと対象者の心の元気
- 心の元気と地域のきずな
- コミュニケーションと信頼関係づくりの理論
- コミュニケーションと信頼関係づくりの理論
- 良好な集団づくりの理論
- 良好な集団づくりの理論
- 自主的、主体的に楽しむ力を育む理論
- 自主的、主体的に楽しむ力を育む理論
- 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ
- 良好な集団作りの方法・アイスブレイキング
- 自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法
- 自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法
- まとめ

予習・復習

予習・・・様々な情報の中から、レクリエーション関連ワードを知って、日頃からレクリエーションについての知識を広めるように努めておく。
 日頃からレクリエーションに関するキーワード(レジャー・余暇・遊び・楽しみなど)に気を付けて情報を収集するように心がける。

備考

レクリエーション・インストラクター資格関連科目